

日韓学術文化交流事業訪日団（第1～2団）招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的】「対日理解促進交流プログラム(JENESYS)」の一環として、韓国全土から選抜された若手教育関係者等を招へいし、テーマ「日本の教育現場及び平和教育の現場視察」の下、各種視察、日本の教育関係者等との交流、テーマに沿った講義聴講等を通じて、日本に対する理解を深めることで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】 プレプログラム（オンラインによる事前学習） 韓国の教育関係者等 52名
招へいプログラム 韓国の教育関係者等 52名

【訪問地】 プレプログラム 東京都 52名
招へいプログラム 東京都、広島県、兵庫県、大阪府 52名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

5月11日（木） オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム：

6月4日（日） 成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

6月5日（月） 【講義聴講】文部科学省「日本の初等中等教育について」

【表敬】駐日韓国大使館韓国文化院

【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

6月6日（火） 【学校訪問・交流】（第1団）東京都江東区立八名川小学校、（第2団）東京都立小石川中等教育学校、広島県へ移動

6月7日（水） 【表敬】広島県教育委員会事務局学びの変革推進部長兼教育センター所長

【講義】広島県庁「国際交流員から見た広島の魅力」

【視察】広島平和祈念資料館

【講義聴講】被爆体験講話

【視察】平和記念公園、韓国人原爆犠牲者慰霊碑、原爆ドーム

6月8日（木） 【学校訪問・交流】（第1団）広島県広島市立袋町小学校、（第2団）学校法人呉武田学園武田高等学校

【企業訪問・講義聴講】中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター「原爆の記憶を引き継ぐ活動について」

6月9日（金） 兵庫県へ移動、【視察】人と防災未来センター、大阪府へ移動

成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

6月10日（土） 関西国際空港より出国

2. 記録写真



2023年6月5日【講義聴講】
文部科学省「日本の初等中等教育について」



2023年6月6日【学校訪問・交流】
東京都江東区立八名川小学校



2023年6月7日【表敬】広島県教育委員会事務局学びの变革推進部長兼教育センター所長



2023年6月7日【視察】原爆ドーム



2023年6月8日【学校訪問・交流】
広島県広島市立袋町小学校



2023年6月8日【学校訪問・交流】
学校法人呉武田学園武田高等学校



2023年6月8日【企業訪問・講義聴講】中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター



2023年6月9日【視察】人と防災未来センター

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 教員

八名川小学校の先生方との交流や袋町小学校の6年生の児童が同校内の平和資料館を直接案内してくれたことが印象に残っています。また、広島では教育委員会の方々も学校訪問に同行してくださり、学校レベルではなく、よりマクロ的に質疑応答ができ、日本の小学校教育について知ることができました。

◆ 韓国 教員

日本の小学校が実際にどのように動いているのかを知ることができました。なかでも、日本の教員や児童と交流できたこと、そして日本の児童を対象に模擬授業を実施できたことが大変良かったです。また、（人と防災未来センターでは）災害を乗り越える際に大きな役割を果たしたコミュニティの重要性について学ぶことができました。

◆ 韓国 教員

教員なので、広島の歴史的な場所を訪問することは大変有意義でした。また、学校を訪問し、生徒たちの生活を見たり、交流の時間に一緒に話をしたり、一緒に授業を受けたり、一緒に考えたりした時間が一番楽しかったです。使う言語が異なるだけで、どこの国でも若者たちの興味や悩みは同じだということも分かり、日本という国をより身近に感じました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 広島県教育委員会

本県では現場主義を大切に、学校現場の声にしっかりと耳を傾けながら、「広島で学んで良かったと思える 広島で学んでみたいと思われる 日本一の教育県の実現」を目指しています。実際に広島県の教育現場を見て感じたこと、得られた知識、経験を生かして、韓国での教育活動に活かしていただければと思っております。

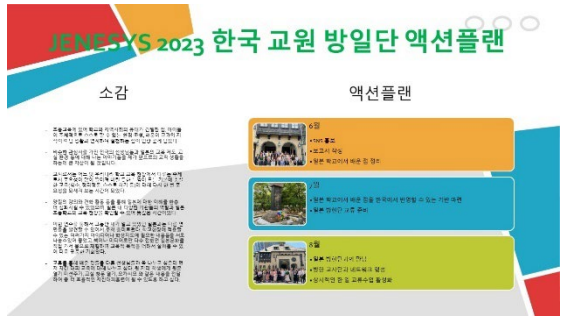
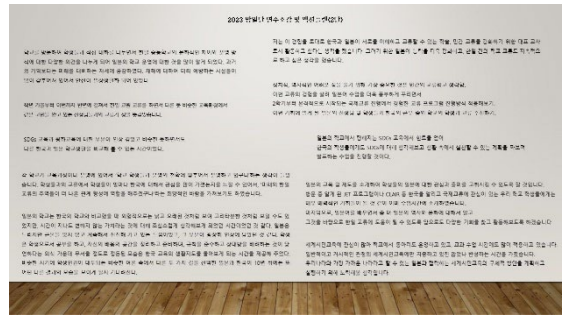
◆ 東京都江東区立八名川小学校

韓国との類似点や相違点を知ることができ、児童にとっても教員にとっても学びの多い有意義な交流でした。国が違えども、子どもたちのことを大切に思い、分かりやすい授業をしようと心を尽くされている姿に、同じ教師であるということが感じられ、うれしく思いました。

◆ 東京都立小石川中等教育学校（生徒）

韓国の方と初めて話をして、韓国文化について知ることができました。韓国の食べ物や学校の様子は、日本と似ているけれども異なるところが見つかり興味深かったです。また、この機会に韓国語を少し勉強して、ハングルの面白さや言語を学ぶ楽しさを味わうことができました。「日本のことが好きな人が多い」と言っていたときはうれしかったです。私も韓国のことが好きになりました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表
(訪問地：東京都、広島県、兵庫県、大阪府)

 <p>JE NEYSYS 2023 한국 교원 방일단 액션플랜</p> <p>소감</p> <p>액션플랜</p>	 <p>2023 방일단 연구수업 발표(2페이지)</p>
<p>【訪日中の学び】</p> <p>韓国の学校教育現場では重要度が低下しつつある基本に忠実な教育（清掃、整理整頓、主体的に行動する力等）について、その重要性を再確認しました。</p> <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <p>①小学校教育において学校と地域社会の絆が緊密な点、児童が主体的に行動できる環境づくり、学びが生活に直結し実践できる点が印象深く残りました。</p> <p>②交流を通じて学んだことや日本の地震防災教育について周囲の教員に共有したいです。地震発生時には教室等の出入り口を開ける、「おはしも・おかしも（注：避難時の標語）」等について共有することで、より効率的な地震避難訓練になるようにしていきたいです。</p> <p>【アクション・プラン】</p> <p>帰国後2か月以内に日本の学校で学んだことを整理し、韓国の学校教育現場で反映できる基盤づくりに着手するとともに、8月には日本の教員訪韓団との交流を通じて日韓両国の教員ネットワークを形成し、両国の学校間での交流授業を活性化していきたいです。</p>	<p>【訪日中の学び】</p> <p>学校訪問を通じて、日韓両国の中学校の文化的な違いや運営方法について、生徒と直接様々な意見を交わすことで、日本の学校運営について多くを知ることができました。過去の記憶よりも未来に備える姿勢に共感しました。災害に対して事前に予防する施設が多く整備されており、安全が日常化されていました。</p> <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <p>SDGs 教育と平和教育が印象的でした。似ているようでありながら、両国の学校生活の相違点を比較することができる時間でした。</p> <p>【アクション・プラン】</p> <p>今回の経験を基に、両国が相互理解を深めながら交流できる学術・民間交流を強化するために、その代表的な教員として活動していきたいと思えます。そのためには日本語能力をさらに強化し、両国間の学校交流も継続的にやりたいと思えます。</p> <p>日本の学校で行われている SDGs 教育にヒントを得て、韓国の学生にも SDGs について考え生活の中で実践できるよう、計画を立てて発表する授業を行いたいです。</p>

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金